

金の音

kane-no-ne

さいたま市男女共同参画推進センター
パートナーシップさいたま
広報誌vol.10

2006.11

ひとひと 特集 女・男フェスタさいたま 2,3

男女共同参画 地域から—こころ豊かに生きるため—

- これからパートナーシップさいたまを考える 4
—事業検討会議を開催—
- ただいま活動中! 「めんどり会議ふあーすとすてっぷ」
- 私たちの学んだこと—記録誌づくりは第二の学び— 5
- Book Navi 図書のご案内
- 施設・相談のご案内 6

日本型近代家族の成立<社員・主婦システム>



加納 実紀代さん
敬和学園大学教授
女性史研究家
専門 日本近・現代史研究
ジェンダー論

1968年には日本はGNP世界第2位という今につながる経済大国になります。世界からは、日本人の猛烈な働きぶりに対して、「エコノミック・アニマル」という呼び名が呈せられました。そうした経済成長の中で、日本社会は1次産業(農業)中心から2次産業、さらに3次産業へと産業構造が高度化し、1億総サラリーマン化と言われる状況になります。その結果、圧倒的多数の男性がサラリーマン化していく、女性はサラリーマンに連れ添う主婦になります。

それによって両親と子どもといいわゆる核家族が大衆化したわけで、社会学では「近代家族」と言いますが、イギリスあたりでは産業革命の18世紀から誕生したといわれています。日本では遅れて戦後の1960年代における高度経済成長の中で、勤め人が多数を占めるという状況で一般化したわけです。歴史家の庵野政直さんは「日本現代女性史」(有斐閣2004)で、こうした家族のあり方を「社員・主婦システム」と言っていますが、的確な命名だと思います。

つい50年ほど前までは、日本社会の多数を占める農家の妻たちは、1人前に農作業したうえで家事育児もしていたのですが、「社員・主婦システム」の成立によって、家事・育児だけを担当するいわゆる専業主婦が大量化したわけです。これは過酷な農作業からの解放であり、女性たちにも歓迎されましたが、問題は性別役割分業です。つまり「男は外で働き、女は家で家事・育児」というように、男と女の役割が違い、男は「公」で女は「私」に位置づけられたことです。そして男が外で仕事は生産労働であり、お金がもらえる、しかし女が家でやる家事・育児は私的な消費労働で、タダということになります。

しかし主婦が家のなかでやる家事・育児は、経済学的にいえばたんに私的な消費労働ではなく、社会的な価値を持つ再生産労働です。なにを再生産するかというと、労働力の再生産です。それには短期と長期の2種類があります。夫が毎日会社に行って働いて、すっかり消耗して帰ってくる、そのとき妻が食事の世話などの家事労働をすることによって夫は労働力を再生産され、翌日もまた働くことができる、それが短期的労働力の再生産です。長期の再生産は子ども、つまり次世代の労働力を産み育てることです。こうした妻の再生産労働がなければ労働力は枯渇し、企業社会は成り立ちません。にもかかわらず無償です。しかも夫は「オレが食わしてやっている」と言った顔をする、いったい私の存在はなんなのか? そういう状況背景に、ウーマンリブ、第2波フェミニズムが起こってくるわけです。

第6回

ひと ひと 女・男フェスタさいたま

男女共同参画 地域から
—こころ豊かに生きるため—

とき:2007年(平成19年)1月20日(土)～21日(日)
ところ:シーノ大宮センタープラザ3F・10F

今年で6回目を迎える“女・男フェスタさいたま”は、「男女共同参画 地域から—こころ豊かに生きるため—」をテーマとして、さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会とさいたま市の共催で開催されます。

市内で活動している団体の交流や日ごろの活動の発表の場として、展示、ワークショップ、映画会、講演会などが予定されています。

あなたもフェスタに参加し一緒に楽しみ、また男女共同参画について一緒に考えてみませんか。

女・男フェスタの企画運営を行うさいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会は、市内の男女共同参画推進団体で構成され、団体相互の交流や情報交換、男女共同参画意識の啓発活動など男女共同参画社会の実現に向けた活動を行っています。

女・男フェスタに取り組んでいる協議会会長から次のようなメッセージが寄せられました。

それが輝いて

さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会
会長 谷口 富貴子

『地球上の大切な人的資源の2分の1を占める女性たちが台所に押しこめられている限り、地球の未来に繁栄はないだろう。』とは、第1回国際婦人年世界女性会議(メキシコ)開幕の際のヘルヴィーシピラ事務局長の印象的なスピーチの冒頭のことばです。以後、女性たちはパワーアップし、今や「男女共同参画」を謳って世界中で活動を展開しています。

参加団体 ウィズ・ユー岩槻、浦和育友会、浦和母親大会連絡会、浦和民主商工会婦人部、大宮混声合唱団、大宮つけの会、大宮(五十音順) 民主商工会婦人部、career cafe. グループ・メッセージ、コーベル、東風の会、さいたま浦和地区更生保護女性会、埼玉骨盤バンク推進連絡会、さいたま市ガールスカウト連絡協議会、さいたま市女性経営者クラブ、さいたま市地域婦人会、さいたま中央地区更生保護女性会、さきたまフレンズの会、(社)さいたま市シルバー人材センター、生涯学習コーディネート協会、女性団体ネットワーキング、女と男いきいきネット、ヒマラヤ・シルク、ひゅうまんライツ、フォーラム彩翔、藤のわ会、めんどり会議ふあーすとすてっぷ、洋彩の会、LA CUCINA PICCOLA



催物ご案内

1月20日(土) 14時00分～15時30分

映画 「ベアテの贈りもの」

10階ホール



ベアテ・シロタ・ゴードン 戦後女性史となっています。



- ◆入場無料
- ◆託児

先着順、定員200名(事前の申込は要りません)
1歳以上就学前、定員7名、障害保険料実費 申込は電話又はFAXで、保護者の氏名・住所・電話番号・子どもの氏名・生年月日・性別を1月12日までにパートナーシップさいたまへお知らせください。

1月21日(日) 13時30分～15時00分

講演 「あなたもいっしょに考えましょう」 ～女と男のステキな関係～

10階ホール



講師:広瀬久美子さん
(元NHKエグゼクティブ
アナウンサー)

“天使のことば”をモットーに活躍する元NHKアナウンサー。早稲田大学文学部卒業後、NHKアナウンス室配属。2000年NHKを卒業後、フリーの立場で民放、NHK各局に出演し活躍中。



1月20日(土)

●展示 10階ホール

10時00分～ 16団体による活動報告

●ワークショップ

3階会議室3

10時30分～ 紅茶の試飲会
(さきたまフレンズの会)

12時15分～ トーク&トーク
みんなで語ろう!思いきり
—私の男女共同参画—
(めんどり会議ふあーすとすてっぷ)

3階会議室1・2

10時30分～ ヒマラヤティーとトーク
(ヒマラヤ・シルク)

◆問い合わせ

さいたま市男女共同参画推進センター
(パートナーシップさいたま)

TEL048-642-8107 FAX048-643-5801

1月21日(日)

●展示 10階ホール

10時00分～ 16団体による活動報告

●ワークショップ

10階ホール

10時30分～ 折紙の作品づくり (浦和育友会)

10時30分～ 琴の演奏 (藤のわ会)

10時55分～ ファッションショー着物から洋服 (洋彩の会)

11時25分～ 混声合唱 (大宮混声合唱団)

11時50分～ ネバールの民族舞踊 (ヒマラヤ・シルク)

3階会議室3

10時30分～ トークinトーク
「女の言い分・男の言い分」
～こころ豊かに生きる～家庭も地域も
きて!みて!わかる!男女共同参画

3階会議室1・2

10時30分～ 誰もが使えるパソコン支援
(生涯学習コーディネート協会)